

## 地域福祉市民アンケートの実施について

### 1 調査目的

次期「山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画」の策定にあたり、市民に対して、日常生活や地域のことなどごく身近なことからや、今大切なこと、必要なことについて率直な意見をうかがい、今後の計画策定過程において基礎資料とすることを目的として、アンケート調査を実施します。

### 2 調査件数

- (1)調査件数 18歳以上の市民約4,000人  
 (2)抽出方法 本市の人口構造・分布との誤差が少なくなるよう、地区と年齢により区分した上で無作為に抽出  
 (3)策定時のアンケートの回収結果(参考資料)

	前々回(平成25年2月)	前回(平成29年2月)
総配布数	4,056人	4,045人
返送数	15人	15人
調査対象者	4,041人	4,030人
有効回収数	1,752人	1,667人
有効回収率	43.4%	41.4%

### 3 調査方法

- (1)配布方法 依頼文と調査票を郵送  
 (2)回収方法 返信用封筒を使用して郵送により調査票を回収

### 4 調査期間

- (1)発送予定 令和4年2月28日(月)  
 (2)投函期限予定 令和4年3月18日(金)

### 5 調査内容等

#### (1)調査項目

区分	設問数	前回比較
① はじめに(ご自身のこと)	15問	-
② 地域での生活について	8問	追加(2問)
③ ボランティア活動や社会福祉協議会などについて	6問	-
④ 保健福祉に関する御意見などについて	7問	-
⑤ 地域福祉について	4問	修正あり
合計	40問	追加(2問)

## (2)調査項目の設定にあたって

計画策定にあたり実施している地域福祉市民アンケート調査からの経年変化等を調査する必要があるため、基本的に調査項目は同一としていますが、新型コロナウイルス感染拡大は市民の健康や暮らしに不安もたらし、社会生活に深刻な影響をもたらしていることから、地域での生活の現状や変化を的確に捉えるため、A.調査項目の新設、B.調査項目をわかりやすくするための表記や字句等の修正を加えています。

## (3)前回策定時のアンケート調査票からの変更箇所(主要な部分を掲載)

### 《A. 新型コロナウイルス感染拡大の影響による変化等を捉えるため、調査項目の新設》

問22 新型コロナウイルス感染症が拡大した令和2年4月以降、全体としてあなたの暮らしはどう変化しましたか。

1. 悪くなった
2. どちらかといえば悪くなった
3. 変わらない
4. どちらかといえば良くなった
5. 良くなった
6. わからない

問23 あなたには、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う不安や悩みごとがありましたか。

1. あった → 付問23—1へ
2. なかった → 問24へ

付問23—1 問23で「1.あつた」と回答した方にお尋ねします。その不安や悩みごとを誰に相談しましたか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家族や親せき
2. 友人や先輩、知人
3. 職場の上司、同僚
4. 近所の人
5. かかりつけの医者
6. ボランティア、ボランティア団体
7. 行政等(市、市社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、専門相談機関等)
8. 民生委員・児童委員
9. 福祉員
10. 相談できる相手がいなかった
11. その他( )

## B.調査項目をわかりやすくするための表記や字句等の修正

問38 ともに助け合い、支え合う地域づくりを推進するため、あなたは社会福祉協議会や施設などの社会福祉法人にどのような役割を求めますか。  
(○は3つまで※1つでも2つでも構いません。)

1. 活動内容の周知
2. 専門職員などの人材の確保、育成
3. 新たなサービスの提供
4. 地域との密接な連携
5. サービスの利用しやすさ
6. 住民からの信頼の確保
7. 施設の充実や使用しやすさ
8. その他( )

問39 ともに助け合い、支え合う地域づくりを推進するため、あなたは行政にどのような役割を求めますか。(○は3つまで※1つでも2つでも構いません。)

1. 福祉活動の意義と重要性の周知
2. 福祉活動を行う拠点の確保
3. 福祉活動への資金的な支援
4. 個人の趣味や活動を活かせる場所の提供
5. 地域住民同士の連携のサポート
6. 福祉活動に携わる人材育成
7. 福祉活動への相談や支援の充実
8. 福祉活動に係る情報提供
9. 学校等での福祉教育の推進
10. 地域における福祉サービスの向上の推進
11. その他( )

### (4)調査票(案)

- 別紙 資料2-② (設問一覧)  
別紙 資料2-③